

土曜開庁の現状と今後の考え方。
東大和駅前の防犯と美観について。
学校校庭・運動場の芝生化について。
市全体の防犯及び警察との連携について。

1 期目の公約でもある。休日の市役所開庁（土曜日曜開庁）。試験的な形で土曜日の午前中の開庁を 19 年 5 月にスタート。3 ヶ月がたち成果が見えてきました。土曜開庁はことしの 5 月 12 日から試行が始まり、毎週土曜日の午前 8 時半から正午まで開庁し、市民課を初めとする五つの課の一部のサービスを行っております。

【3 ヶ月間の成果】

受付件数 3515 件 内訳「取り扱い件数 3310 件・窓口取り扱い 102 件・電話問い合わせ 103 件」。
税金収納実績 787 万 7000 円強。 1 日平均受付 220 件（土曜日午前のみ）。

【開庁日時】 毎週土曜日 12 月 29 日から 1 月 3 日の間は閉庁します。※土曜日が祝日と重なった場合は閉庁します。

【開庁時間】 午前 8 時 30 分～正午。

【利用窓口】 市民課・保険年金課・課税課・納税課・児童福祉課（の一部を除く）。

課名	係名	問い合わせ先	課名	係名	問い合わせ先
市民課	戸籍係	【問合せ】(内線)1011 まで	保険年金課	国民健康保険係	【問合せ】(内線)1021 まで
	市民係	【問合せ】(内線)1017 まで		老人保健年金係	【問合せ】(内線)1026 まで
課税課	市民税係	【問合せ】(内線)1054 まで	児童福祉課	児童福祉係	【問合せ】(内線)1153 まで
	家屋資産税係	【問合せ】(内線)1060 まで		保育係	【問合せ】(内線)1152 まで
	土地資産税係	【問合せ】(内線)1057 まで	納税課	管理係	【問合せ】(内線)1041 まで

今後、さらなる市民利用向上のため土曜日・日曜の休日開庁を実現してゆきます。しかし、ただ開庁するだけでは無駄です。年中無休の開庁が良いのか？平日休みが良いのか？無駄に休日開庁しても人件費などがかかります。市民の生活リズム・仕事に影響しないなど、市民が一番利用しやすいことを基本にして、休日開庁を実現します。

駅前周辺の防犯活動と同時に 駅前周辺やトイレの清掃も！

問 子供の防犯対策（生活安全条例など）と東大和警察署との連携状況は

答 現在、子供の安全に対する対策委員会を設置しています。また、生活安全条例（仮称）などは現在多摩 26 市中 15 市が設置している状況です。警察からも話を伺っているので「検討していく」と警察には話しをしております。

問 子供の防犯は不審者の発見などだけではなく道路事情や夜間時の照明なども関係してきます。例えば、樹木などの高さなども防犯対策に関係してきます。身長が 100 センチ程度の児童が歩道を歩いていると樹木が 120 センチであれば児童が見えないなど、街の造り方にも防犯対策は欠かせません。これは、要望しておきます。次に、1 期目で実現した「安全安心情報送信メール」と東大和警察が発進している「東大和警察署メールニュース」の情報を総合利用についても要望します。

問 次に 6 月議会で質問した駅前トイレや周辺の清掃なのですが、質問後何度が確認したのですが、裏のくぼみに 20 個程のゴミ袋が置いてあったり、人口付近に生ゴミが堆肥化してあるような状況でしたが現在把握していることを教えてください。

答 コミ袋につきましては、清掃業者が毎日収集したゴミ袋を週一回の収集の為に、一時的に置いておきます。生ゴミについては、誰かが持ってきて捨てているのではないかとの見方を持っています。

問 駅前周辺及びトイレ清掃の委託状況を教えてください。

答 トイレの清掃業者は指名競争入札で行っています。現在の業者については、結果的に 10 年程連続して契約をしています。

問 10 年間行っているため馴れが出てきていると感じます。東大和市駅、玉川上水駅前広場、一括で 567 万円ですが、半額にしても 300 万円。私が議員になった 5 年間を見ても汚い印象や状況が多く感じられます。業者を変更する考えは？

答 駅前のトイレは、東大和市の顔でございます。今後、担当の職員を通して早速業者に対して事情聴取し、徹底的な指導をしたい。

問 次に東大和駅前の行政情報コーナーを利用して防犯活動を行えないか？

答 実は防犯協会から市長に要望書がございました。あの場所を安心安全まちづくりコーナーと称して防犯活動を行いたい。2 人 1 組で地域の見守り活動を実施。10 月をめぐりに週 1 日か 2 日、1 日当たり二、三時間程度で実施したい。市長も是非とお願いした経過があります。

問 提案地域の方や団体からの防犯活動の要望があり、常駐出来るなら、駅前周辺やトイレ清掃などの管理も一緒に行えば、委託料なども削減できるが頼めないか？市長の考えは？

答 先日、防犯協会が駅前のコーナーを起点に駅前の治安や道案内をしたいと聞きまして、私もうれしく思っております。今の提案ですが将来的には常時常駐するような体制をとる中で、駅前周辺のトイレまたごみ掃除などを管理する案については、一つの検討課題として受けとめます。

学校校庭の芝生化が地域で可能に!?!

これまで、学校校庭や運動場の芝生化を4年間議会でも訴え、実現の可能性を上げるための情報収集を重ねてきました。現在、市政の財政難の中、学校校庭の芝生化を行える方法が...市民と地域の力で学校の校庭の芝生化も実現可能です。

問校庭の芝生化にかかる費用は

答1平米1万9,000円程度、1,500平米で2,400万円程度、になると考えています

問他市の状況は?

答小平市立第十三小学校の例は、平成17年度に実施。トラック部分を残しての芝生化で約2,300平方メートルです。

久米川東小学校の例は、6年度に実施。校庭全面ということで、約3,600平方メートルを行ってあります。また、東村山市で行った3,600平方メートル、これは余りでかいので、一部分業者委託してメンテナンスを行っていることとございますけども、内容によりまして、300万円から500万円ぐらいの維持管理費は必要になるということとで話しております。

問東京都に補助金制度がありませんがご存知でしょうか?

答存じております。補助金の内容は(図1参照)です。

問現在、東大和市の新規事業の財源の捻出は難しい。その中で、東京都からの全額補助制度を使う事によって、校庭の芝生化はもちろなのという

校児童の環境教育・運動不足の解消や地域コミュニティの再構築も可能です。当市の計画の中にも校庭の芝生化を歌っているのであればこのような補助金をうまく活用していただきたいのですが。

答議会が終わりましたら早速、担当の庶務課長に東京都へ行ってもらう調査をして、前向きに検討させていただきます。

問前向きな検討をお願いします。また、教育委員会より各学校に事業の内容を話し学校で組織を構築できないか?

答予算のつかない措置されていない段階では話をするのは難しいと考えています。また、自主的に組織が立ち上がり「ぜひ校庭を芝生化したい」と相談があれば、東京都の補助を使って整備をしてゆきたいと考えております。

問いままでの話を聞いて市長の考えをお聞かせします。

答まずは未来を担う学校という現場から、この仕事をやっていきたいというふうに思っています。とにかく実行したいと思っていますけれども、具体的には教育委員会、現場の校長先生ともよく話し合っただけで対応してみたいというふうに思っております。

図1

条件次第で全額補助も

東京都の補助金目的

ヒートアイランド対策の一環として、校庭の芝生化を行う事業。

補助金の対象内容

都内の公立小・中学校の屋外運動場の全部または一部を芝生化する事業。250平米以上の芝生化また、芝生化とあわせ、建物(校舎・屋内運動場の壁面・校舎屋上)の緑化、芝生化を実施する場合には同時に行うことも出来る。

補助金の交付対象詳細

本工事費(基盤・土壌の整備や芝張り) 附帯工事費(砂場や遊具の撤去、移動などの経費) 調査設計費は、本工事・附帯工事を施行するための調査測量試験及び設計などの経費

備品等の購入費で、芝刈り機の購入や備品の設置工事でございます。

補助金の額

補助対象経費の2分の1 または補助対象経費全額

全額条件

補助対象事業完了後の芝の維持管理を、児童、保護者、地域住民との協働で実施する仕組みを構築する場合においては、補助対象経費の全額補助

総務委員会で視察に行ってきました。

19年10月初旬に総務委員会で視察に行ってきました。視察先は3市(安城市・高浜市・西尾市)を回り、災害時要援護者支援者支援制度・民間提案型業務改善制度・行政評価制度の3点の勉強です。

災害時要支援者支援制度については、地震災害などの災害時に地域の力・周辺のご近所さんがみなで力を取り合い高齢者や障害者・介護者の救出または安否確認を行う制度です。今現在は、個人情報保護法の基、各地域や民生委員に対して要支援・要援護が必要な方の情報が送られておらず、実際に災害が起こった時でなければ要援護の必要な方の情報が知られない状況になっていきます。もちろん何でもかんでも情報を教えるのは個人情報問題でなかなか出来ません。そこで安城市での解決案は、台帳登録者(障害者・高齢者世帯・これに準ずる難病患者)を行政が選定し、希望者に申し込み用紙の記入登録・同意をもらい、その方々の情報を各地域の協力者や民生委員に知らせるといった方法です。もちろん登録したくない方は無理に登録する必要もありません。

今後、この災害時要支援者支援制度を東大和市にも取り入れて行きたいと考えています。また早急に東大和市政でも災害時要援護者の情報を把握して欲しいものです。次に、民間提案型業務改善制度です。この制度は、市が発注している事業全てが対象で、ある事業とある事業を個別に委託するよりも2事業同時に委託した方が、予算面では安価になり、事務事業などがスリム化することにより、行政の事業や企業の効率化などを図ることを目的としている内容でした。また、高浜市においては、市長の肝いりで、民間的経営感覚を取り入れるための職員研修も行われていました。詳しくは、下記にて。

これはいい!東大和市にも取り入れます。

民間的経営感覚を取り入れる。今年の視察で一番印象に残り、東大和市政にも取り入れたいと思ったことがありました。それは、TPS(トヨタ生産方式)による業務改善制度です。これは、トヨタの経営方針とも言える「無駄を省く事により職員の効率を上げる」というもので、12名が10日間の研修で500万円かかるそうです。そして、次の年は研修に行った12名が新しく職員に対して研修を行うという内容でした。但し、この研修制度を行うには大きな問題点があります。一、市長の市民サービス向上の意識と500万円の予算組み

二、市職員が民間的経営感覚や市民へのサービスの向上を行う意識があるか?など、やる気があればよい研修に!やる気が無ければ無駄な研修になる恐れがあります。



関野たかなり

昭和48年10月14日 34歳
身長 184cm 体重 78kg
2003年 29歳・初当選
2007年 33歳・2期目当選
現在の役職
政策の会 代表
総務委員会副委員長
都市計画評議員
東京たま広域資源循環組合委員